

令和6年度 第1回 内子町教育改革懇談会の協議結果（概要）	
開催日時	令和6年7月11日（木） 19：00～20：30
出席者	委員：14名（1名欠席） 事務局：5名
協議事項	(1)学校教育の現状について (2)アンケート調査について (3)意見交換
協議内容	(1) 学校教育の現状について →【事務局から】 ・年度が変わり委員交代があったため、資料に沿って下記内容について説明。 （内子町教育改革懇談会への諮問内容、平成21年3月諮問時の内子町教育改革懇談会の開催状況、幼稚園・小学校・中学校統廃合の状況（平成17年1月1日以降）、町内における出生数の状況、町内における児童・生徒の推移状況、教育関連施設 等） (2) アンケート調査について →【事務局から】 ・前回懇談会時にアンケート調査の素案を提示。委員の皆様からいただいた意見を参考に修正案を作成。 <u>対象者</u> 保育所等の未就学児・小中学校の保護者、教職員、各自治会、児童生徒(小学4～中学3年生) <u>実施時期</u> 保護者・教職員・各自治会：7月中に案内 児童生徒(小学4～中学3年生)：1学期終業式までに実施 <u>実施方法</u> Web アンケート又は紙文書によるアンケート <u>質問内容</u> 保護者：就学中（予定）の学校の良い点・悪い点、1学年あたりのクラス数、1学級あたりの児童生徒数、通学時間、学校の再編統合について等。 ※質問は小学校と中学校について、それぞれ伺う。 教職員：保護者用と同様な内容。教育環境、小規模校の対策、地域コミュニティの役割等について、質問を追加。 各自治会：1学級あたりの児童生徒数、通学時間、地域と学校の関わりについて等。 児童生徒(小学4～中学3年生)：保護者用を参考に表現を子どもに伝わるように修正。 →【委員】（気になった点について、意見をいただく） ・誤った表現をしている箇所について、指摘を受ける。 ・児童生徒(小学4～中学3年生)用について、表現をもっと子ども向けにした方が良い。 ・複数回答が良い質問には「複数回答可」と明記すべきと指摘を受ける。 等 (3)意見交換

	→【委員】 ・本年度より拠点校部活動が始まった。部活動は既に合同で行っていることも踏まえ、できるだけ早く中学校は統合する方が良いのではないか。 ・拠点校部活動になってから、部活動の練習時間が減っている。 ・統廃合を行う場合、1校だけを廃校とするのではなく、複数校が廃校となるようにすれば、抵抗感が小さくなるかもしれない。 等
協議結果	○アンケートの修正及び実施を行う。次回懇談会(9/19)までにアンケート結果をまとめ、委員の方へ結果を共有する。